（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスアイビック市川			
○保護者評価実施期間	2025年10月20日	～	2025年11月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	2025年10月20日	～	2025年11月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	2	（回答者数）	2
○事業者向け自己評価表作成日	年　月　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して笑顔で過ごせ、何度でも来たくなるような温かな場所であること。	毎日、笑顔が見られるように個々の特性を理解して支援しています。	子どもたちがわくわくできるような活動を、今後もたくさん取り入れていきたいと思っています。
2	おやつのお買い物ごっこをして金銭感覚と計算を学んでいる。	10円～90円までの様々なおやつを用意し子供たちに選んでもらい同時に計算してもらっています。	外出しお買い物をする機会を増やしていく。
3	多様な年齢層の子どもたちとの交流	さまざまな年齢の子どもたちと関わることで、生活に必要な力を身につけたり、他者との接し方を学べるよう、異年齢での交流を大切にしている。	事業所内だけではなく外部と関わることが出来る活動をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちと一緒に活動する機会	公園で遊んでいると他の子に声をかけてもらうことはあるが、一緒に遊ぶまでにはつながっていない。	スタッフも地域の子どもたちにやさしく声をかけながら、みんなで遊べる環境をつくっていく。
2	専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）がいない。	専門職の視点を取り入れることで、これまでとは違う角度から子どもたちの課題を把握し、より良い支援につなげることができる。	専門職の配置ができるよう求人活動していきます。
3			